

発心ほつしんを正ただす — 不染汚ふぜんな 正修行しょうじゆぎやう 正信心しょうしんじん 正信身しょうしんじん — (六版)

発心ほつしん正ただしからざれば万行まんぎやう空むなしく施ほどこすと
銘めいじて悪あくを作つくらず衆善しゆぜんをつとむ

心こころが欲よくに染そまりなば

智慧ちえが隠かくれて過あやまち作つくる 貪むさぼり

怒いかりの想おもい限かぎりから

総すべてを無なくす炎ほのおの災禍さいか 瞋いかり

愚おろかさ認みとめず重かさなりて

貴とうとさ自みずから損そこなわん 癡おろかさ

上うえな無みちき道かぎは限いりを出いでる

心こころに定さだむは名利みやうりを捨すてる

心こころを自みずから浄きよく持もち

生しょうじ死じがまことと覺悟かくごせん

無むじよう上の道みちを歩あゆむもの

欲よくしん身しんただし勝願しょうがん立てて仏ほとけの生死いのちを学まなぶべし

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文